

つなごて

2018年
夏号



～事業予定～

- 6月10日 森の学校 遊歩道整備
- 6月24日 森の学校 植樹地草刈り
- 6月30日 しねり弁天たき地蔵まつり ゴミ分別指導
- 7月7日 だんだんど～も只見線沿線元気会議 ワークショップ
- 7月8日 森の学校 遊歩道整備
- 7月中旬 てくてく木漏れ日ツアー
- 7月29日 森の学校 植樹地草刈り
- 8月25日 小出まつり協賛
- ～27日 ゴミ収集事業
- 8月27日 小出まつり協賛 踊ろう会
- 9月2日 森の学校 遊歩道整備
- 9月16日 森の学校 植樹地草刈り

2018年5月29日発行

発行:NPO法人魚沼交流ネットワーク

総務部・事務局

住所:〒946-0023 魚沼市干溝 1848-1

魚沼市小出郷文化会館内

TEL:025-792-1336 FAX:025-792-6776

Mail: npo@uonumakara.com

URL: <http://www.uonumakara.com/npo/>

Facebook: <https://www.facebook.com/npouonuma/>

第15回通常総会 報告

平成30年5月19日(土)魚沼市小出郷文化会館・小ホールにて、第15回通常総会を行いました。(本人出席28名 委任出席39名)

平成29年度事業報告並びに決算承認の件、平成30年度事業計画並びに予算承認の件、NPO法改正による定款変更の件を議題とし、満場異議なく皆様からの承認を得ました。

終了後はかまくらサロンにて懇親会を行い、来賓の方々、会員の皆様、職員一同と楽しく交流をし、有意義な時間を過ごしました。

事務局



文化会館指定管理から一年を経過して

そもそも魚沼市小出郷文化会館を市が指定管理に委ねた理由は、簡単に言えば市直営の運営では種々の要因で今後うまく立ちいかないということであった。「文化会館管

理業務民間委託実施計画」で想定していた「市民主体の財団法人」設立には至らなかったため我々のNPOが受託することになった訳だが、1年を経過してまずは無難なスタートを切ったと言えると思う。

昨年の自主事業プログラムは直営時代に企画されていたから、実質今年度から魚沼交流ネットワークがその色を出しながら実行に移していく年となる。会館オープンからのコンセプトは変えず、文化・芸術事業を通して市内外のお客様に楽しみや喜び、感動や感激を届けるサービスを提供する事は館長以下、職員に取ってとてもやりがいのある仕事ではなろうか。人口減少が今以上に進展していくことが予測されるが、こうした中であって益々企画力や実行力、先見性などが必要になってくる。また市からの指定管理料の中でどうやって効果的・効率的にその資金を投下していくか、法人としての経営も考え合わせながら事業を進めていかなければならない。市民サービスの向上と経費節減は指定管理受託者の使命でもある。館内外いろんな人の意見も取り入れていくことも理事者の一人として大事なことと思っている。

もうひとつ大事なことは専門的職員(プロ)を育成していくことである。書類や面接選考を経て昨年4月から新しい職員も採用になった。ステージをりつばに作り上げる、観客に満足感を与える、また会館に来たいと思わせる。表に出たり黒子になったり、そんなことを目標に頑張っているものらしいと思う。そのことが地域の伝統文化の維持・向上や芸術の浸透に結び付くのではないだろうか。会員の皆さんも会館に足を運んで是非いろんなプログラムを見てほしい。

副理事長 平井 正尚

Facebookに注目！！



今回一番注目された記事は事務局の雪合戦お知らせの記事でした！
(2月上旬～4月末)

魚沼国際ネットワーク
作成者 伊藤 勇 (7) 2月2日

【事務局】今日は良いお天気ですね～24日に行われる雪合戦の会場準備が着々と進んでいますよ！
さて、今年も当NPOはゴミの分別・木工教室・キャンドル教室で小出国際雪合戦に参加します！
そして今年も文化会館チームで雪合戦に出場します！！
応援、差し入れ大歓迎です！
ぜひ遊びに、観戦にいらして下さい。... もっと見る



随時情報発信中！「いいね」してね♪

～事業報告～

- 3月 4日 視察研修(十日町)
- 3月 11日 森の学校安全作業講習会(座学)
- 3月 25日 森の学校安全作業講習会(実施)
- 4月 8日 森の学校 きこの菌打ち講習会準備(ほだ木の用意)
- 4月 15日 だんだんど～も只見線沿線元気会議 ワークショップ
- 4月 22日 森の学校 きこの菌打ち講習会準備(ホダ木の用意)
- 4月 28日 森の学校 山道具整備指導会
- 5月 9日 理事会
- 5月 12日 魚沼子ども元気フェスティバル協賛
- 5月 19日 定期総会
- 5月 27日 森の学校 干溝の森自然観察会



※今年度より会館自主事業は
母子手帳をお持ちの妊婦さんへ招待♪



笛田博昭 テノール・リサイタル

日時…7月8日(日)
開場 14:30 開演 15:00
会場…魚沼市小出郷文化会館
大ホール
料金…一般(前売り)3,500円
高校生以下(前売り)2,000円
・全席指定

柳家喬太郎×入船亭扇辰 二人会

日時…6月15日(金)
開場 18:30 開演 19:00
会場…魚沼市小出郷文化会館
小ホール
料金…全席指定 3,000円

吉澤実& 栗コーダーカルテット

日時…6月9日(土)
開場 14:30 開演 15:00
会場…魚沼市湯之谷庁舎3階
食堂 ※元議場
料金…一般(前売り)2,000円
高校生以下(前売り)1,000円
・全席自由

魚沼市小出郷文化会館 自主事業
おすすめプログラム♪



『編集後記』
指定管理受託から一年が経ち、何と無く過去の機関紙を見直していました。
すると夏に大湯のビアガーデンに行ったり、ボーリング大会をしたり、大雪の日に忘年会で電車が止まったりなど懐かしい記事が出てきました。
新しい事をしていくのも大切ですが、たまには過去を振り返ってみるの良さですね。

■しねり弁天ゴミ収集ボランティア募集中！
日時…6月30日(土)17時～21時頃
集合…17時、本部テント前
内容…会場内のゴミ収集、分別
申込み…事務局025-792-11336



うおぬま森の学校 年間スケジュール



- 6月 10日 遊歩道整備
- 6月 14日 伊米ヶ崎小学校自然観察会
- 6月 24日 植樹地草刈り
- 7月 8日 遊歩道整備
- 7月 29日 植樹地草刈り
- 8月 25日 木工教室
- 9月 2日 遊歩道整備
- 9月 16日 植樹地草刈り
- 10月 6日 四季の潤い里山まつり木工教室
- 11月 18日 里山整備
- 12月 9日 木工教室
- 1月 27日 木工教室
- 2月 10日 魚沼国際雪合戦 木工教室
- 3月 10日 安全作業講習会
- 3月 24日 安全講習会 キノコのホダ木伐り

の作品を作ります。オーデイションは一緒に頑張れる子を大学生まで募集しています。是非勇気の一步踏み出してください!!お待ちしております。」

親子で感動の舞台に参加してみたいかがだろう。今年
のオーデイションは6月2日(土)、3日(日)に小出郷文化
会館で開催される。

記 品田 美幸

「よそ者」と「若者」

新潟日報小出支局長の小林睦樹さんを招き、魚沼市まちづくり委員会「政策部会」準備会の勉強会がボランティアセンターで開かれた。昨秋着任されたばかりの新鮮な目で率直に魚沼市の事を話した。講演後、参加者から具体的な提案や意見が多く出された。

■要旨は次の通り。

一、雪の降り方が中途半端でない事を実感した。除雪、排雪体制は万全で自宅のある新潟市に比べたら、魚沼の冬は生活するのに楽かもしれない。冬の間は新潟市になかなか帰らなかったのがその証である。国際雪合戦、雪中花水祝い、結の灯り雪洞まつりなど、雪があつてのイベントが多い。大白川の「雪流れ」など、地元では当たり前なことであるが他の地域の人からみれば珍しいこともある。

地元の人がある良さに気付いていないものを、その良さに気付いた人が活かすことが重要である。気付いた市民からの発想で始まった村上市の「町屋のヒナ人形飾り」がそのよい事例である。「雪」は観光資源のひとつだ。

一、市内の各イベント。商工会、「ミ協」など諸団体、組織

が取り組んでいる事
の共通点は人
口減問題で
ある。税収
が減少する
ことにつな
がる。これ
からはイン
バウンドを
視野に観光
振興が重要
となる。企
業誘致への
期待がある

が、雇用者増に結びつくかを真剣に考える必要がある。

一、文化面では石川雲蝶の作品が2つのお寺に多くあつてよかつた。魚沼市から輩出された文化人は多いが宮校二記念館を除くとその名を冠にした建物はなく、作品や収集物の多くは魚沼市外に収納され、展示されている。魚沼市外にあることを不思議に思う。当時の行政、市民が上手に買っておけばよかつた。

現在市内にはその道の関係者から見れば貴重なもので観光資源になり得るものがたくさんある。眠っているものもあるはずで発掘に心掛けることが大切である。観光資源があるのに市民をはじめ市も目に見える取り組みをしておらず活用されない。

記 高野 俊治



かたつくり」が開館しました

平成30年5月5日(こどもの日)に魚沼市子育ての駅

当NPO会員からも市民ワークショップの委員として参加いただいております子育ての駅がプレオープンし、利用が始まりました。

開館時間は9時30分から18時30分(季節により変更)、休館日は月曜日(祝祭日の場合は翌日)及び12月31日から1月3日、利用料金無料です。通常は記名で入館可能ですが、通年利用者には登録カードが発行されます。(イベント等での利用は事前申請必要)

対象となる利用者は小学生までのお子様です。大人だけでも入館できますが、遊具の利用は小学生以下となっています。市内外を問わず子育て世代の多くの方々より利用いただき交流してほしいといった願いもあったことでした。

今後はクッキングスタジオや木製大型遊具等、さらに使い勝手がよくなるような整備を進める予定です。

住所：魚沼市干溝2088-1

電話：025179212112



300人の津軽三味線大合奏を訪ねて パート2 文化が地域を活性化

前回は肝心の津軽三味線大合奏について、ほとんど書かないでしまった。会場を圧倒する迫力のある演奏でスタートした津軽三味線2017。時に津軽三味線について分かりやすい解説を加えながらの津軽弁を交えたユーモアたっぷりの司会進行。途中、津軽三味線の腕もかなりののお笑い芸人(津軽漫芸 黒石八郎氏)やドラマと三味線のコラボが登場するなど、三味線にさほど興味がなかった私でも飽きずに三味線のステージを楽しむことが出来た。

三味線独奏、女流三味線共演、そして津軽三味線を軸とした津軽唄掛合、津軽手踊り、津軽唄など、それぞれの分野でトップクラスの人達による普段目にする事ができない唄、踊りも披露され、津軽三味線の奥深さを垣間見ることができた。

収容人数は小出郷文化会館より少し小さいかと思われるが昼と夜の2回公演。当日は多くのツアー客で会場は満員。沖縄からこの演奏を聴くためにツアーで来ていた団体もあった。雰囲気や津軽三味線の迫力を感じるためにも、是非現地を訪れて生の演奏を聴いてほしいと思う。

津軽三味線のように地域



に根付いた文化が全国から人を呼び寄せ、地域活性の役割を担っている。なんと素晴らしいことか。
2020年の東京オリンピックで津軽三味線の演奏を目指しているという話も聞いた。是非、実現することを願っている。

今年、妻はもう一度、知人と一緒に津軽三味線の演奏会に行きたいと考えているようだ。勿論、私抜きで計画のようだが…。

記 大平 明

魚沼で子育て 魚沼産☆夢ひかり



キッズミュージカル魚沼産☆夢ひかりの子ども達もコミュニケーション能力がずば抜けている。と、人から聞いたのは

長女が生れる前だったか。以来、6年間オーディションの日を心待ちにしていた。大げさではなく本当に。嫌がる長女を無理やり連れて行った。稽古は弁当持参で土日ともに朝から夕方まで。夏休みも終日稽古だが休暇日が程良くある。7月に入り、楽しくなってきた娘と入替えに私がひーひー言い出した。舞台を支えるのは親である。入会前は衣装作りも美術も参加したいな♪だったが、1歳にならない次女を抱え衣装作りは一着のすそ上げ程度、連絡メールのチェック、追い込み時期の送迎&体調サポートだけで手一杯だった。だけど、送迎時に他の子ども達の様子も

見ているので、本番の感動はひとしおであった。それまでの苦勞が吹っ飛んだ。この感動と達成感親も癖になる！

さて、ずば抜けた能力はどう培われるのか。公演後の打上げにひとつのヒントがあった。舞台に関わった全員が1分

ずつ感想を述べる。ある親子の感想だ。

子「ずっとチームの気持ちバババラだった。

年長でもリーダーで

もない自分に何ができるのか、苦しかった。」

母「帰りの車の中で練習の様子を話してく

れるが、今の話は初めて聞いた。葛藤して3

ヶ月間自分なりに考え成長してくれた。がんばったね。」

子ども達は互いの感想を聞き、翌年新たな作品に挑む。すると、自らすべきことを考え行動するようだ。そんな魅力的な環境を作る小口先生から、厳しく優しく楽しい稽古をつけてもらった娘が羨ましかった。昨年から活動期間

が通年となった。技術力の底上げと学校の部活動との兼ね合いからだそうだ。(我が家は、従来の本公演までの3ヶ月間の参加だった。)

現在3名の出演者の父でもあり事務局を担う井手さんに、夢ひかりへの思い、今年の作品の意気込みを伺った。

「私は今年で関わって10年目を迎えます。夢中になれることに出会っている子供がとにかく羨ましいです!!夢中になると子供は自然と輝きます。魚沼産コシヒカリのように一粒一粒が輝くそんな団体をこれからも作っていきます。今年

の作品は「白雪姫〜毒リンゴの中の真実〜」です。夢ひかりらしく、夢、ワクワク、勇氣、そしてキラキラがいっぱい

この指とまれ。いつでも誰でも Welcome!!

